

令和6年度 認知行動療法普及研修 開催要項

（趣旨）

第1 市域の精神障害のある方を支援対象としている事業所等の職員を対象に、うつ病等の方への認知行動療法の支援方法に関する知識を深め、対象者への支援の質の向上、認知行動療法の普及啓発を図るために開催するもの。

（目的）

第2 不安症に関わる相談は多く、特に思春期・青年期においては、不登校やひきこもりなどの問題が付随し、精神保健分野のみに関わらず、教育分野などさまざまな場面で相談支援に携わることが多く、支援者は困難感を抱えやすい。不安症に対する認知行動療法を用いたアプローチや、不安症を抱える相談者に対する関わりについて学び、関係機関等の相談援助技術の向上を目指す。

（対象者）

第3 名古屋市内の医療機関等で精神科医療及び相談等に従事する医師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士、保健師、看護師等。市内の小中高等学校・大学の教員やスクールカウンセラー、福祉事業所等に従事する職員等。

（内容）

第4 日時及び内容

日 時	内容および講師
令和7年2月6日（木） 13時30分～16時50分	「不安症の理解と治療～支援者は何を理解しておくべきか～」 宮崎大学医学部看護学科 教授 吉永 尚紀 氏 「事例から学ぶ社交不安症～周囲に望まれる関わり～」 ごきそカウンセリングオフィス 代表 荒木 睦美 氏

（開催方法）

第5 「Webex」を利用したオンライン開催

（申込方法及び締切）

第6 LoGo フォームより、令和7年1月31日（金）までに申込とする。

（その他）

第7 その他、必要な事項は別に定めるものとする。